

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【いじめ防止集会】</p>	<p>各学級でいじめを防止するためのスローガンを考え、全校集会で代表者が発表した。加えて、全校でいじめの構造に関する動画視聴を行ったり、お互いが気持ちよく過ごせる学校生活について考える時間を設けたりした。また、生活委員会が中心となり、いじめについてのクイズを実施し、いじめ防止について考えを深めた。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>各学級でいじめを防止するためのスローガンを考えることで、いじめ防止を自分事として捉える意識が育まれた。全校でいじめの構造に関する動画視聴を行ったり、身近ないじめの例に触れたりすることで、一人一人がいじめをしないという気持ちをもつことにつながった。</p> <p>また、クイズ形式で身近ないじめについて考えたことで、友達への普段の振る舞い方を児童一人一人が振り返る機会となり、学校全体でいじめを許さない意識を育むことができた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>児童が継続していじめ防止を心かけていくことのできる取組につなげていきたい。</p>
<p>2 実践2 【生徒指導事例研修会】</p>	<p>全職員で配慮が必要な児童や指導の仕方について共通理解を図った。また、職員集会等の機会に配慮が必要な児童について情報共有をしたり、関わり方についてのミニ研修会を行ったりし、日常的に人権教育を意識した指導を行うことができるよう全職員で共通理解を図った。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>生徒指導事例研修会で児童の実態などについて共有することで、どの職員も同じ意識で指導をすることができた。また、定期的に児童との関わり方についての研修を行うことで、困り感を教員間で共有したり、具体的な対応の仕方について考えたりする機会となり、全職員で児童を育てる意識を高めることができた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>次年度への引き継ぎを丁寧かつ確実に言い、指導のあり方についてより共通理解を図って、対応できるようにしたい。</p>